

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-382-4809

年度	平成27年度		
施設名	新潟市横越地区勤労者総合福祉センター	所管部・課	江南区産業振興課
施設の設置目的	勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の場を提供し、もって勤労者の福祉の増進を図ります。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	2015. 6. 1
歳入	2,023	正職員		修正日	
歳出	10,221	非常勤		評価日	2016. 5. 18

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	利用者数の増	年間利用者数27,600人以上 (単位:人)	26,934	27,576	26,349	27,600	27,396	過去4年間の平均値(27,520人)以上の目標値を設定した。	利用案内の広報と窓口での利用状況の把握と宣伝の励行	各種の現状、利用件数は4.5%増になった。会員数の多い団体(フランドス等)が他施設利用をするようになり、利用者数の減になった。	C
2	市民	稼働率の増	年間30%以上 (単位:%)	27.3	28.4	30	30.0	31	多目的ホール以外の利用率が依然として低い。	利用案内の広報と窓口での利用状況の把握と宣伝の励行	現状課題問題点の検証を実施して、少人数の利用客の要望により、研修室の床張替など実施して対応した。多目的ホール以外の稼働率を上げることができた。	B
3	市民	苦情件数の減	苦情件数0件 (単位:件)	1	0	0	0	0	施設・備品の老朽化	窓口について、丁寧な対応の徹底と行政との連携	要望把握のためのアンケートなど実施と管理人との定例協議によって、利用者満足度を向上に努めてきた。	B
4	財務	管理運営経費の削減	年間管理運営費9,800千円以下 (単位:千円)	8,952	9,203	9,606	9,800	10,094	委託料・修繕・消耗品費の点検と各種消費税の増等の結果、当初予算を下回る額を設定	電気・ガス使用量の節減の徹底を図る。	必要経費の削減に努めてきたが、修繕・備品購入などがあり未達成となった。	C
5	財務	歳入の増加	使用料収入年間1,985千円以上 (単位:千円)	1,927	1,985	1,919	1,990	2,039	過去3年間の最高額(1,985千円)を超える目標値とした。	利用案内の広報と窓口での利用状況の把握と宣伝の励行	現状課題・問題点の検証をやってきた。備品等の拡充にも努め、利用件数は4.5%増につながり、使用料増になった。	A
6	業務	安全確保体制の確立	消防訓練を年2回実施 (単位:回)	2	2	2	2	2	AED導入に伴う人口蘇生講習を定期的実施予定	避難訓練・通報訓練・人口蘇生講習を定例化する。	AED導入後の人口蘇生講習を含め避難訓練、通報訓練を実施定例化をすることができた。	B
7	業務	情報の共有化	管理人との定期的な情報交換(単位:週/回)	1	1	2	1	2	情報交換を定期的に行って情報の共有化を図ることで問題点の早期発見に努める。		施設の課題・問題点について、情報交換ができた。	B
8	人材	人材育成	コンプライアンス研修年1回実施(単位:回)	1	1	1	1	1	法令順守意識を高めるとともに公正な職務の遂行を確保する。		避難訓練時にコンプライアンス研修を同時に実施することができた。	B
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
施設の稼働率を上げるため、広報・ホームページ等利用して、PRを検討実施することにより使用料収入の増を図ります。併せて、適切に利用していただける体制を確立します。一方管理運営費については、備品等の新設等は必要最小限の支出にとどめるよう努めます。	ホームページを積極的に利用して、施設の広報に努め、利用者アンケート実施による最小限度の備品拡充に努めることで、利用者件数の増加ができた。建築物法定点検によって、中規模の修繕と施設内床改修などにより、施設の利用者の満足度の向上につながったと思われる。しかし依然として多目的ホール以外は、稼働率は低いことが課題である。今後も運営費の削減に努め、人材育成につながる研修を行い、情報共有に努めていくことが必要。